



令和2年(2020年)8月
第84号

もりまち 議会だより

写真／シャクナゲ満開の
大日山金剛院（三倉）
投稿者：山田勝恵さん



題字

旭が丘中学校

むらまつさくたろう

村松咲太郎さん（園田地区）

《主な内容》

6月定例会

2～3 ページ

一般質問

4～6

新型コロナウイルス対策の休校による課題は ほか

議会活動報告

7

リモート研修会 ほか

発行 静岡県森町議会

一般会計100億円超え

5月臨時会

5月臨時会を5月8日に開催しました。専決処分、補正予算など7議案を審議し、すべて可決しました。

6月定例会

6月定例会を11日から26日までの会期16日間で開催しました。



本会議の風景

専決処分、補正予算、条例改正、人事、契約に関する一般議案など、提案された15議案を審議し、すべて可決しました。また、陳情1件を審議し、不採択となりました。選挙管理委員会委員等の選挙も行いました。一般質問は「新型コロナウイルス対策の休校による課題は」など、5人が質問しました。(4〜6ページに掲載)

補正予算

一般会計補正予算(第2・3・4・5・6号)

補正額 23億5213万8千円
総額 102億3913万8千円

休業要請協力金

指定期間休業した、飲食店事業者に協力金として20万円を助成
(補正第2号 1500万円)

特別定額給付金

全町民に一人10万円を給付
(補正第3号 18億1140万円)

短期集中お達者サロン業務委託

外出の自粛によりフレイルへの移行が危惧される、介護保険サービスを利用していない高齢者が脳トレ体操・運動等を行う
(補正第4号 298万円)

※フレイル：身体的機能、認知機能等が低下すること

感染防止対策用備品の購入

図書館に図書消毒機の導入
文化会館に除菌電解水給水器の設置
総合体育館に大型扇風機の導入
歴史民俗資料館に空気清浄機の導入など
(補正第4号 234万5千円)

感染症拡大防止対策事業費補助金

町内の定員29人以下の入所介護施設にて、居室に簡易陰圧装置を設置する経費に対して補助する
(補正第5号 432万円)

※簡易陰圧装置：室内と室外の空気圧に差異を設ける装置

教育委員会事務局費

緊急時における学校教育の対応を図るため、GIGAスクール構想を前倒しし、全小中学生一人一台端末の整備を行う
(補正第5号 1億1967万円)

教育委員会事務局費

感染症対策として、幼・小・中学校のトイレ洋式化及び宮園小ランチルールの密集化を避け、分散して喫食するため、特別教室へ空調設備などを整備する
(補正第6号 4657万4千円)

災害対策費

避難所や災害対策本部等の感染症対策として、マスク・消毒用アルコール、手袋・フェイスシールド等の消耗品、避難所の換気対策として大型扇風機、気化式大型冷風機等の備品を整備する
(補正第6号 1319万5千円)

文化会館費

文化会館に自動手指消毒器、AI顔認証サーマルカメラ等を導入する
(補正第6号 2290万1千円)



AI認証サーマルカメラのイメージ

道路新設改良費

予定していた額を上回る国の予算割当て内示を受け、新田赤松線の整備を進める
(補正第5号 2589万2千円)

木造住宅耐震補強助成事業

予定していた件数を上回ったため、14件の追加計上を行った
(補正第5号 1750万円)

一般議案

物品売買契約の締結

消防ポンプ自動車1台の売買契約の締結を承認
契約先 静岡森田ポンプ(株)
契約金額 1996万5千円
更新場所 第1分団

コロナウイルス対策などにより

特別定額給付金 18 億円など、
国・県から交付金を受け、
新型コロナウイルス対策を実施しました



委託契約の締結

小中学校情報通信ネットワーク設備
整備事業の委託契約の締結を承認

契約先 静岡日電ビジネス(株)

契約金額 5687万円

内容 校内通信環境の整備

条例

森町立学校設置条例の一部を改正
する条例について

令和3年4月、三倉小学校、天方小
学校、森小学校を統合するため、条例
から森町立三倉小学校と森町立天方小
学校を削除する

新型コロナウイルス感染拡大の影
響による統合期日の猶予について
の陳情

第一常任委員会では審査を行い、本会
議にて採決した結果、不採択となりま
した。

人事

森町選挙管理委員会委員及び補充
員の選挙

選挙管理委員及び補充員それぞれ4
人の選挙(指名推薦)を行いました。

森町選挙管理委員会委員

岡田隆男氏 岡野知洋氏
榊原 茂氏 森下義明氏

森町選挙管理委員会委員補充員

亀山成代氏 村松八重子氏
吉筋克次氏 安形元成氏

討論

森町立学校設置条例の一部を
改正する条例について

山間部の生活基盤を取り戻
す施策は様々行われてきた
が、人口流出は止まっていない。

中学校統合の時も、地域からの問
題提起に行政は応えていないので
はないか。第9次総合計画を見て
も、山間部の10年後、20年後がど
うなるか分からない。国はコンパ
クトシティを推進しているが、間
違っている。

(西田 彰)

賛成 学校統合については、いろ
いろな見方や考え方はある
が、この機会を逃すと、森町の学
校教育全体に影響が出ることを想
定される。

文科省の手引の中で、児童生徒
が集団の中で多様な考えに触れ、
認め合い、協力し合い、切磋琢磨
することを通じて資質や能力を伸
ばしていくことが重要で、小・中
学校では一定の集団規模が確保さ
れていることが望まれるとしてお
り、同時に学校指導要領も変わる
ことから、本条例に賛成する。

(中根幸男)

6 月定例会の審議結果

15 議案すべて可決

※賛否の分かれた議案、陳情は以下のとおりとなります。

(○=賛成 ×=反対)

議 案、陳 情 名	山本 俊康	西田 彰	鈴木 托治	中根 幸男	吉筋 恵治	岡野 豊	中根 信一郎	加藤 久幸	岡戸 章夫	出口 裕	川岸 和花子	結 果
森町立学校設置条例の一部を改正する 条例	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	可決
新型コロナウイルス感染拡大の影響に よる統合期日の猶予についての陳情	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	不採 択

※議長(亀澤進)は採決には加わりません。



加藤 久 幸

新型コロナウイルス対策の休校による課題は



加藤

①小中学校において授業日数の不足等により本来行うべきカリキュラムを消化できるか。
②マスク着用による熱中症対策は。
③長期休校による精神的なケアは。

教育長

①夏休み冬休みの短縮による授業日数の確保、学校行事の重点化や準備期間の工夫、学習支援員を活用した学習面でのきめ細やかな対応等により、休業による影響を取り戻していきたい。
②③児童生徒一人ひとりの様子をよく見て適切に対応するよう指示し、文科省や専門機関からの情報を注視し、情報提供を行っていきたい。

加藤

アルコール消毒液の代替品として活用が進んでいる次亜塩素酸水の有効性と、活用方法及び問題点は。

町長

有効性については帯広畜産大学や北海道大学での実証実験で不活化効果が証明されている。しかしNITE(製品評価技術基盤機構)の実証実験では十分なデータが



役場の1階に据え付けられた除菌電解水給水機

加藤

集まっていないことから、6月中旬に最終報告があると報道されている。活用方法はテーブルやイス、ドアノブなどへ噴霧し除菌を行う。問題点としては紫外線の影響を受けると塩素濃度が低下し、除菌、消臭の効果が低下する。町民及び町内事業者への無償配布については、直射日光が当たらない涼しい場所での保管することをお願いしている。

保健福祉課長

使用方法、注意事項などを記載したチラシを一人ひとりに説明し、配布している。
再度、職員に指導を徹底したい。

町政を問う

～一般質問～

西田

町と遠州水道企業局との計画契約水量と実績使用水量には乖離があり、一般的に「空料金」と言われている。この見直しが必要なければ水道料金改定に理解は得られない。

①これまでの見直しへの努力は。
②空料金と言われるその差額は今までにいくらになるのか。
③企業局との交渉は時間が必要と思う。森町水道事業経営戦略では3年から5年先には料金改定が必要としているが契約水量見直しとされるまでは改定はするべきでないと考えるがどうか。

町長

平成24年から受水5市町で、企業局に対し料金引き下げ、事業計画の見直し等を協議し、平成25年度には5市町首長により、県知事に対し料金引き下げや乖離の解消などを要望した。結果、使用料金1㎡当たり1円引き下げ、受水量乖離については、令和14年度から解消見込みである。「差額」は平成21年から令和元年までで約4億2千万円であ



西田 彰

上水道事業について



り、遠州水道の必要経費と認識している。料金改定については町の経営戦略等に基づき、今後水道料金審議会等を組織し、議論の中から意見を踏まえ適切な時期に料金改定を判断したい。



遠州水道 寺谷浄水場(磐田市)

西田

コロナ感染症が長期化する中、大規模災害発生時における避難所の備えは。

町長

国からは避難所での対応について各市町の意見を踏まえ、ガイドラインを作成中である。掛川市で行われたモデル訓練では職員4名が参加し、感染対策など具体的措置を受講した。避難所設置についても「高齢者、障がい者」のための福祉スペースを設ける事や、対応が難しいときは町内11の介護施設、障害福祉施設への移送を想定している。



現在の周智高校跡地

町長 周智高校跡地は、テニスコート、就学前の幼児と保護者が利用できる公園、利用者のための駐車場などを基本に活用を考えている。関係課等で構成する委員会を設置し、協議を進めていく。また、将来的に歴史民俗資料館の移設も考えられるため、その候補地でもありとされている。

川岸 訪れた方に町の原点である歴史・文化を力動的に情報発信する施策が必要と考える。周智高校跡地に「周智農林学校創設者顕彰庭園」が完成したが、そのほかの跡地活用策は。



川岸 和花子

歴史・文化を訪問者に 情報発信する施策は



アクティ森に「学べる」体験を

川岸 森町には、古くからの歴史、舞楽・祭りなどの素晴らしい文化が存在するにもかかわらず、森町を楽しもうと訪問した方がそれを知ったり学んだりできる場が少ないのではないかと。

そこで、町外から多くの訪問者がある「森町体験の里アクティ森」に、森町の歴史・文化を学べる展示施設を増やしてはどうか。

町長 アクティ森は、観光客だけでなく、町民の皆様にも多く利用いただいております。自然の中でアウトドア体験や食体験、創作体験をしてもらうのが開館以来の経営方針です。しかし、森町の歴史・文化についても魅力のひとつなので、臨時的に展示施設を活用するのも検討材料の一つと考える。

町政を問う ～一般質問～



出口 裕

新型コロナウイルスに対する 行政の対応は



出口 町民、個人事業者に給付される「特別定額給付金」「休業要請協力金」を行政の責任者としてスピード感をもって対応してもらいたい。また、今後はいろいろなメディアを使い、町の取り組みの「今」を町民に伝えてはどうか。「不安」を取り除くため、町長が口頭から言われている「安心・安全」の認識を伺う。

町長 スピード感に加えて、正確で間違いのないことも重要である。幸い当町ではトラブルは発生していない。これは、担当職員が意識をもって取り組むことができていると考える。

情報発信については、同報無線やチャットメール、広報もりまちや回覧、ホームページなど、様々な媒体を通じて広くお知らせしている。

不安を少しでも解消していただき、安全・快適に暮らせるまちづくりに努める。

出口 現在、東京、九州地方での、コロナの「第2波」の話も聞

かれる。現在は、町内感染者は出ていないが出た場合の対応策があれば伺う。

町長 町民の方へは基本的な感染予防策、体温測定等健康チェックを啓発し、自らの発症が疑わしい場合の帰国者・接触者相談センターへの連絡相談について、利用可能なあらゆる媒体を活用して、できる限りリアルタイムで情報提供する。

さらに県と連携し、関係団体の協力を得ながら、医療機関等から要請があった場合には、在宅で療養する患者への見回り、食事提供などの支援をする。また、多くの人が利用する公共施設については利用制限をし、感染拡大の防止に努めていく。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の3原則

持 持 持

たず たせず だませず

お家の時間を減らし、街を歩く人の数を減らします。

コロナウイルスは「目・鼻・口」から感染します。特に手洗い・咳エチケットを徹底しましょう。

（咳やくしゃみをする際は、マスクを着用し、手の届かない場所に向かって行い、その後必ず手洗いをします。）

●コロナの感染が最も多い場所を減らします。

●感染が最も多い場所を減らします。特に手洗いや咳エチケットを徹底しましょう。

●移動する14日前から、必ず3回以上手洗いをします。手洗いは、移動を減らすよりも重要です。

心掛けて欲しいこと

- 1 感染が疑われる場合は、必ず3日間、自宅にこもり、外出を控えます。
- 2 感染が疑われる場合は、必ず3日間、自宅にこもり、外出を控えます。
- 3 感染が疑われる場合は、必ず3日間、自宅にこもり、外出を控えます。

静岡県新型コロナウイルス感染症対策チーム
TEL 054-221-2843 E-mail: itakazu-400@pref.shizuoka.jp



岡野 豊

新型コロナウイルス 対策と今後の取組は



岡野

世界中を恐怖に陥れ国内でも1万8千人余が感染、900人以上の方が死亡している。幼少中学校では休園、休校、各種会議、集会等が自粛されたが、未だ終息を迎えていない。①から⑤について伺う。

町長

①町の感染拡大防止策の検証評価については、国、県の対応方針に基づき、森町新型コロナウイルス対策本部を設置し、各種感染防止対策の実施及び周知を図ってきた。町内感染者が無いことから、一定の成果が出ていると考える。

②特別定額給付金の手続きは、6月19日現在全世帯の93.8%、町民1万7千293人に給付しており、申請手続き、事務での問題は発生していない。

③持続化給付金制度については、国に直接申請する事業であり、商工会やJAが相談対応をしている。町としては正確な情報をキャッチし、町内の事業者の方にホームページ等を通じ速やかに周知していきたい。

防災課長

④今後起きうる自然災害における、避難所の運営については、7月に県の避難所運営ガイドラインが示される予定である。

自主防災組織との調整、協議については、県ガイドラインを踏まえて、指定緊急避難場所等開設時の感染症対策に関する方針を策定し、町の方針を書面等で示したい。

町長

⑤今後の感染予防については、町民一人ひとりが新しい生活様式に取り組み自覚した行動をすることが必要である。

健康維持のウォーキングは、公共施設の利用制限にかかわらず、町営グラウンドの利用目的に当てはまらない。例えば、天宮神社や町内を散歩してもできるのではないか。



新しい生活様式
実践例から抜粋

町政を問う

～一般質問～

消防団に関しての要望書を提出

第一常任委員会

第一常任委員会では、令和元年12月10日付けで森町消防団長から提出された消防団に対する要望書について協議し、結果を要望書にまとめ、6月26日に町長に提出しました。

要望書の内容

①消防団員確保のための取り組みについて

消防団員は地域防災の要として大きな役割を担っています。しかし、人口減少と若者の流出等により団員確保が難しくなっております。

町においては、消防団員の活動について、PR等を行って頂いておりませんが、消防団に対する町民への理解をより深めて頂くため、広報、マスコミ等に報道素材の提供に一層努められたい。

②消防団員の教育訓練施設を併設した消防防災センターの整備について

消防団員の研修等については、4月に新築し運用を開始した袋井消防庁舎・袋井市防災センターを活用されたい。



町長に要望内容を説明する委員長

④消防団員の処遇改善について

消防団員は、地域防災力の要として、消防団の役割と重要性が改めて注目されている。消防団員の確保を図るため、報酬・出動手当の処遇改善を検討されたい。

③事業所における消防団員確保対策の強化・促進と消防団員への支援について

(1) 消防団員確保の協力体制の強化・促進を図るため、事業所における理解を深めて頂くよう啓発に努められたい。

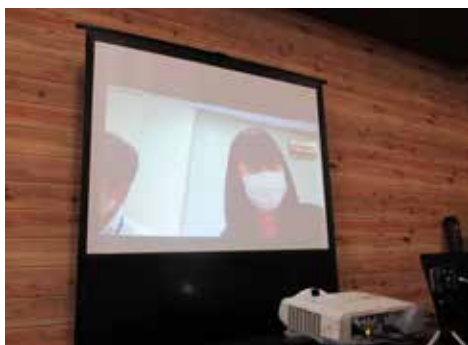
(2) 消防ポンプ自動車の運行に掛かる免許取得にあたっては、消防団員の負担軽減を図るため助成制度を検討されたい。

リモート方式での研修会

テーマ「学校の跡地利用の現状と可能性について」

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種会合が中止され、新しい生活様式の実践が求められている中、感染症対策と議会活動の両立を図る取組みの一環として、7月28日、リモート方式による研修会を開催しました。

研修会では、町の課題である「学校の跡地利用」について、文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部施設助成課の山田振興地域係長より、全国の状況や廃校後の学校施設の活用事例などについて解説していただきました。



スクリーンに映し出された講師

通常の会議と遜色なく質疑応答もでき、東京にある文科省も近くに感じられました。



廃校施設の有効活用事例集



詳細はこちら
文科省「みんなの廃校」プロジェクトHP

平成14年から平成29年までに全国で廃校となった公立小・中・高等学校等の数は7583校です。現存する廃校施設のうち75%が様々な用途に活用されています。

近年は、廃校施設の広大な敷地や教室の間仕切りなどを生かして、社会教育施設や福祉施設、体験交流施設等に活用したり、さらには雇用促進を見込んで企業がオフィスを構えたりするなど、地域の実情やニーズにあわせた廃校活用が全国的に進んでいるとのことであります。

今回の取組みを機に、議会ではオンラインネットワークを活用した研修会や交流会を今後さらに行っていきたいと考えています。

森町議会での感染症対策の取組み

森町議会で行っている感染症対策をご紹介します。



オンラインによるリモート会議の試行
(ICT活用推進委員会の様子)



マスク着用と換気の徹底
(議会だより編集委員会の様子)



本会議の様子をウェブ配信
(YouTube 森町議会チャンネル)



傍聴席の間隔を空ける
12席(全28席)

みんなのこえ

大正琴グループ かわせみ琴の会

森町で大正琴の音色が聞かれ始めたのは、昭和60年頃からでした。主婦の仕事が一区切りついた方たちが、仲間と共に町内のあちこちで始めていったそうです。文化会館が建設され演奏会場ができてからは、多くの皆様に応援いただき、演奏会開催を楽しみに月二回の練習に励んでいます。世情が安定していた平成10年頃までは、ハワイ・中国・ソウルと大正琴を提げ

て訪問し、その地の方々と交流演奏会を楽しみました。10人、20人、50人、皆の心が一つになって思い描いた音色を響かせることができたとき、自然に皆の笑顔が広がります。

大正琴は一人でも楽しめる手軽な楽器ですが、仲間が集まれば楽しみも膨らみます。いつでも仲間大歓迎です。ご連絡ください。



連絡先 代表 新貝加代子(円田)
電話 85-3507

議会を聴きに来ませんか

6月議会では、のべ10人の方が、議会へ足を運んでくださいました。

予約は必要ありません。手続きも簡単です。議場は役場3階です。

- 定員12名(コロナ対策のため50%以下に制限しています)
- お問い合わせ先……議会事務局
電話 0538-85-6329

< 9月定例会の予定 >

9月1日(火)	本会議	初日
9月8日(火)	本会議	二日目
9月10日(木)	常任委員会	
9月24日(木)	本会議	一般質問
9月25日(金)	本会議	最終日

※会議の開始時間は午前9時30分です。

※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

森町折々の写真を募集中

議会だよりや議会ホームページで使用する写真やイラストを募集しています。

詳細は、議会ホームページをご覧ください。議会事務局までお尋ねください。

応募・問い合わせ先

森町議会事務局

〒437-0293 森町森2101の1

0538-85-6329

morimachi.gikai@gmail.com



森町議会HP

写真募集について

出前議会報告を実施します

町民の皆さまに、議会をより身近に感じていただけるよう、議会報告に伺います。

開催希望の団体(町内会、各種団体など)は、議会事務局までご連絡ください。

ひとこと

六月も終わりのこの時期・・・

今年の梅雨も、各地域で記録的な大雨が降っている所がある様です。

我が家の庭先の紫陽花も雨あがりのせいかわずらわたり咲いています。

六月の定例会も終わり、自分としてはほっとしているところです。

今回の議会では、より深く考え、多くの事に疑問を持ち、発言していきたいと思っています。

これから、本格的な夏を迎え、新型コロナウイルス対策をとり、健康管理をして、政務活動にあたっていくことを思っています。

(Y・D)

議会だより編集委員会

委員長	中根 幸男
委員長	岡野 幸男
委員	加藤 久幸
委員	岡戸 章夫
委員	出川 裕子
委員	川岸 花子
発行責任者	議長